



いよいよ考査

(前号より続く)

▼5月27日(金) ●●

- 1 現代文 デジタル社会
最後に少し自習がもらえた
- 2 生物 体細胞分裂
よく分からないジェスチャーがあった
- 3 地理 プレート等
いつもより進んだ
- 4 英表 Lesson11 助動詞Ⅲ
発音ノートが難しかった
- 5 日本史 古墳とヤマト政権
昨日までに比べてスピードにゆとりがあった
- 6 コミュ英 Lesson3
難しかった
- 7 古典 動詞の活用

土曜講習の内容がようやく理解できた
○テスト範囲外をやっている教科もあり、その予習が(精神的に)大変だった。冷房がなくても良いくらい涼しいのはありがたいが、電車内が暑くてつらかった。土日もしっかり勉強したい!!

*

日比谷では基本的に授業は自習にしないことになっている。だから、考査範囲が終わったからといって油断できないことになる。●●
●●くんが書いているように、考査直前に範囲でもないところの予習をするのは、確かに「精神的に大変」という部分があるだろう。

教養主義の日比谷では、例えば入試にまったく関係のない科目も勉強するし、それは3年生でも同じである。3年生になって入試に関係のない科目を勉強するのは辛いかも知れないが、結果としてそれが知識を結びつける

接着剤の役割を果たしたりすることになり、一見迂遠に見えるこの教養主義が、いい結果をもたらしているのである。

だから、確かに大変なのは分かるが、今のうちから計画的に勉強(予習)したり、時間をうまく使ったりする練習のつもりで、前向きに取り組もう。同時に、予習が間に合わない時こそ、授業時間を大切に作る姿勢を失わないようにすることだ。その場で考えたり、大急ぎで辞書を引いたりすることも、後々の勉強に結びついてくる。「予習が間に合わなかったの、ここが分かりません」ということが分かる、つまり、分からないことが分かるだけでも、それが復習を効果的に済ませる力となっていくのである。

*

考査期間中は絶対遅刻しないように。いつもよりも10分くらい早く家を出たり、1~2本、前の電車・バスに乗るよう心がけよう。最終日も登校時間は変わらない。規則正しく、余裕をもって行動すること。

考査の注意もきっちり守ろう。毎日の努力が試させるわけだから、それをいい加減な態度でぶち壊すことのないように。カンニングをすれば、すべての教科が0点扱いとなる。それだけ、考査を大切に考えているのである。

①机は空にする ②荷物は鞆に入れて開かないようにする(机の横にかける) ③スマホ・携帯は電源を切って鞆に入れる ④始め・終了の合図を守る ⑤答案を集めて枚数を確認し終わるまで着席して待つ…など、慣れれば当たり前だが、初めての時は気を使うこともあるだろう。しっかりこなそう。